

川崎市におけるウマノオバチ・チャイロスズメバチの記録

Records of the two wasps, *Euurobracon yokahamae* (Dalla Torre) and *Vespa dybowskii* (Hymenoptera) Andre in Kawasaki

鎌倉正人*・山本 晃*

Masato Hinakura and Akira Yamamoto

*特定非営利活動法人かわさき自然調査団 昆虫班

Insects Research Group, Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

ウマノオバチ *Euurobracon yokahamae* (Dalla Torre) とチャイロスズメバチ *Vespa dybowskii* Andre は、共に良好な里山林に生息するハチで、神奈川県における既知産地も数例と少ない。前者は、シロスジカミキリやミヤマカミキリに寄生するとされ、後者は、モンズズメバチ・キイロスズメバチに社会寄生（営巣初期に寄主の巣に侵入し、乗っ取る）することが知られている。筆者の一人山本は、これを川崎市北部で採集しているので、記録しておきたい。標本は、川崎市青少年科学館に保管されている。

採集記録

ウマノオバチ

2♀, 川崎市麻生区早野, 23-V-2012; 1♀, 同所, 2-VI-2012, 山本 晃採集 (図 1).

同一のコナラに飛来した。カミキリムシ幼虫に食害され樹皮が浮き上がった状態の太い枝に止まり、そこに執着していた。長い産卵管を持ちハチとしては動作が敏捷ではなく、飛来が確認されたのはいずれも無風状態のときであった。

チャイロスズメバチ

1w, 川崎市多摩区枅形生田緑地, 4-VIII-2012; 1w, 同所, 8-VIII-2012, 山本 晃採集 (図 2).

クヌギの樹液に来ていた。樹液の出る木が少ないらしく、頻繁に飛来が観察された。働き蜂なので近くで営巣していた可能性が高い。

神奈川県と近隣の東京多摩丘陵地域における両種の記録は、以下のとおりである。神奈川県昆虫誌では、どちらの種も県内では大磯町の 1 例が知られるのみであったが（長瀬, 2004）、最近になって、ウマノオバチは秦野市（加賀, 2009）・厚木市（村山・渡辺, 2010; 青木・三田, 2011）・茅ヶ崎市および平塚市（岸, 2012）から、チャイロスズメバチは秦野市（大場, 2011）・平塚市（岸, 2011）から、相次いで報告された。一方、神奈川県に隣接する東京都多摩丘陵地域では、ウマノオバチが町田市から記録されており（佐久間, 2010）、チャイロスズメバチの文献データは見いだせなかったが、ウェブサイト上では八王子市において、ウマノオバチの 2013 年の生態画像とチャイロスズメバチの 2010 年および 2014 年の生態画像が見いだされた（長池公園生き物図鑑）。

どちらも川崎市初記録と考えられ、異なる日に複数観察されていることから付近に定着しているようである。都市化の著しい市内において、記録の少ないハチ類が見つかったことは喜ばしく、今後も注目していきたい。

引用文献

- 青木郁也・三田敏治, 2011. 東京農業大学厚木キャンパスからウマノオバチ 2 例目の記録. 神奈川虫報, (174): 19.
大場英毅, 2011. 秦野市でチャイロスズメバチを採集. 神奈川虫報, (174): 110.
加賀玲子, 2009. ウマノオバチの一産卵行動. 月刊むし, (460): 26-28.
岸 一弘, 2011. 平塚市におけるチャイロスズメバチとヤマトアシナガバチの記録. 神奈川虫報, (175): 121-122.
岸 一弘, 2012. 湘南地域におけるウマノオバチの記録. 神奈川虫報, (178): 72.
佐久間聡, 2010. ウマノオバチを東京都町田市で採集. うすばしろ, (41): 17.
長瀬博彦, 2004. ハチ目(アリ科を除く). 神奈川県昆虫誌 III: 1241-1326. 神奈川県昆虫談話会, 小田原.
村山 功・渡辺恭平, 2010. 神奈川県厚木市でウマノオバチを採集. 神奈川虫報, (169): 38.

参照 URL

長池公園生き物図鑑 <<http://biodb.i.hosei.ac.jp/nagaike/>>, 2015/ 8/ 25



図1) 川崎で採集されたウマノオバチ♀.



図2) 川崎で採集されたチャイロスズメバチ (ワーカー).